

3月14日 土 **大塚地区美化活動** 環境保全連合会

大塚地区の皆さま21名が参加して美化活動を行いました。肌寒い中、ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



四絡地区は令和7年度から5年間、「島根健康長寿延命プロジェクト」のモデル地区の指定を受けています。令和7年度の健康実態調査を踏まえた取組を、今年度から各種団体で行う中で、環境保全連合会としても活動のねらいに「健康」を取り入れながら美化活動に努めたいと考えています。



3月11日 水 **四絡小学校6年1組から贈呈**

四絡小学校6年1組の児童が作成した「四絡まめなハッピーまめな健康ノート」を地域に寄贈いただきました。12ページにまとめられた四絡地区オリジナルの健康情報が、楽しい絵やイラストを使ってわかりやすく作られています。コミセンにおいてありますので、是非ご覧ください。



ご寄付のお礼

- ◆香典返し (令和8年3月1日~3月31日) ()内は故人です。
- ◇矢野 中 久屋 一治 (義信)様
 - ◇小山 陸北 磯田 桂子 (宜男)様
 - ◇小山 ひばりヶ丘三 矢田真理子(カズエ)様
 - ◇姫原 中之島東 小田直樹 (芳美)様
 - ◇姫原 上之島西 飯塚 啓二 (ミツコ)様
 - ◇渡橋 蔵小路中 渡部 亘 (和子)様
- ※ご厚志、誠にありがとうございました。
地域の社会福祉事業に有効活用させていただきます。

~四絡コミュニティセンターよりお願い~

当センター等が開催する事業や活動時に撮影した写真を広報誌・ホームページ等で使用させていただく場合があります。また、表彰者等のお知らせについては、出雲市からの情報に基づいて掲載しております。あらかじめご了承ください。

5月の行事予定

日	曜日	内 容
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	四絡子ども教室運営委員会
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	なかよしコアラフリーデー、民児協総会、スマホ教室① 子どもスクール (えいご)
12	火	
13	水	出雲市センター長会
14	木	
15	金	スマホ教室②
16	土	北部コミセン研修
17	日	矢野地区美化活動、環境保全役員会
18	月	子どもスクール (ピンポン・おやつ) 自治協会正副会
19	火	県大コミュニティ実習、スマホ教室③
20	水	広報配達日
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	春風ウォーク (健康増進部)
25	月	子どもスクール (環境学習)
26	火	
27	水	福寿会役員会、人同協正副会
28	木	北部センター長会
29	金	
30	土	
31	日	環境保全連合会総会

次月の
広報配達日 **5月20日水** です

住んでみたい四絡
住んでよかった四絡

令和8年 **広報よつがね** 4月号



四絡コミュニティセンター 出雲市小山町650-21 TEL21-0369 FAX21-0370
E-mail:yotsugane-cc@local.city.izumo.shimane.jp ホームページ公開中 **四絡コミセン** 検索



四絡の人口(令和8年2月末現在)

地区名	矢野	小山	大塚	姫原	渡橋	合計
世帯数	708 (-3)	2,105 (+7)	605 (±0)	832 (±0)	1,711 (+13)	5,961 (+17)
人口計	1,718 (-2)	4,466 (±0)	1,374 (-1)	1,905 (+4)	3,285 (+13)	12,748 (+14)

※()の数字は前月比 資料 出雲市
3月コミセン利用件数 181件・総利用者数 3,756名

8年度が始まりました

地域の皆さまには四絡コミュニティセンターの活動に対し平素よりご支援ご協力をいただき心から感謝いたします。昨年度も四絡コミュニティセンターは年間利用が5万人を超え、市内で最も利用されるコミュニティセンターとなりました。夏まつりや秋まつり(文化祭・農業祭)、冬まつりなどの大きなイベントへも、沢山の方にご来場いただき、活気ある催しとなりました。

特筆すべきは、これらのイベントに沢山の中学生が参加してくれたことです。決められた仕事をボランティアとして活動することもやりがいがありますが、今回の中学生は、企画の段階から参加してくれました。そのおかげで、大人が思いつかないようなアイデアで体験の出店をしたり、幼児のためのコーナーを設けたりするなど、誰もが楽しめる笑顔いっぱいのイベントにしてくれました。地域の行事に中学生が参加してくれると雰囲気も明るくなり、来場された方からはとても楽しかったと喜んでいただきました。参加してくれた中学生が、いつか、この地で、今度は、主催者側として地域活動を盛り上げてくれることを願い、これからも色々な機会に、中学生の皆さんと協働していきたいと思っております。

またこうしたイベントのほかにも、コミュニティセンターでは、地域の実情や住民の皆さまのニーズをもとに、色々な研修会や講座を実施しています。こちらへも多くの方にご参加いただきました。

さて、こうした活動を進める一方、私たちの回りには解決しなければならない様々な問題があります。また新しい課題もどんどん出てきています。健康や福祉、防災、登下校の安全、学校・家庭・地域の連携、人権や多文化共生など、まちづくりをはじめ、課題は沢山あります。こうした課題について、集い、学び、議論することは、これまでも増して大切になってきます。新たな課題に対し、コミュニティセンターとしてもより積極的にかつ柔軟に対応していくため、専門部の活動内容や名称の見直しを行い、今年度、新たに8つの専門部としてスタートしました。地域の皆さまには、これまで同様に各専門部の事業に対しご理解ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

8専門部の紹介…部員募集しています。詳しくはコミュニティセンター長までお問い合わせください。

企画推進部 **みらい創造部** **世代間交流部** **文化部** **環境部** **生活情報部** **子育て支援部** **健康増進部**

3.11 能登・東北とともに

東日本大震災から15年目を迎え、いずもTogether(野津寛延代表)と四絡災害対策委員会そして四絡コミュニティセンターと共催で「能登・東北とともに」イベントを開催しました。始めに福島県いわき市から奥出雲町に移住した佐藤竜さんに災害発生時、介護士として施設に勤務していた時の状況を語っていただきました。放射能の心配があり、ドアなどをビニールで覆ったり、デマが流れ自分も惑わされ、うがい薬を飲んだことなどの経験を話されました。デマに流されるほど追い詰められた状況であったことがよくわかりました。次に、宮城県とライブ中継で当時を振り返り、午後2時46分に会場の全員で黙とうを捧げました。中継の中で、現在もまだ電柱は傾いたまま、瓦礫はないがそのままだ状態の草が生え、復旧が進んでいないところもあるということを知りました。地域の方々は、災害の怖さ、命の大切さを知り、「いざという時に自分は」と考えさせられる機会となりました。

